

(様式3)

事業所名 グループホーム 親孝の里

目標達成計画

作成日 平成 26 年 3 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	年度毎に重点目標を掲げているが、理念の実践に向けて明確な基本方針を作成し、職員と方法を共有すること。	スタッフ全員が明確な基本方針を理解し、実践していくこと。	理念の実践に向けての明確な基本方針の作成を全体会議で行い、具体的に実践していく。半年後にできているかを評価する。	6 ヶ月
2	36 (14)	利用者がさらに一日の生活をいきいきとたのむことができるよう、支援のあり方を工夫する。	日々の楽しみを作り、メリハリのある生活になるよう支援する。	曜日別に楽しみを設けて、日々の楽しみにする。 (月)ぬりえ (火)体操 (水)買い物 (木)歌 (金)習字 (土)文化祭出品作品作成 (日)ドライブ、公園へ散歩 (雨天時ゲーム、レクリエーション)	1 ヶ月
3	33 (12)	「重度化対応・終末期ケア対応指針」を作成しているものの、重度化の状態把握や看取りの実施手順を明確にしたマニュアルを作成し、家族へその対応を明らかにする手順書を作成すること。	看取りの対応指針の見直し、看取り実施手順書の作成。それを元にスタッフ、家族へ情報の共有をしていく。	看取りの指針の見直しをし、手順書をわかりやすく、情報の共有ができるものかをスタッフで協議し改善する。また実際に使用した結果、改善点があれば改善して、次回につなげていく。	6 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。